

第31回
奈義MOCA
観月会

「奈義MOCA観月会」は、夜の美術館を開館し、夜空に浮かぶ月と共に音楽を楽しんでもらうイベントとして開館以来開催してきました。特徴的な空間作品である常設展を舞台にしたコンサートは、そこで響く音楽を「聴く」だけでなく、音そのものを「体感」するような音楽演奏会になります。当日は企画展も開放します。星空の下、雄大な自然に囲まれた美術館そのものを、ゆっくりとした「奈義時間」の中でお楽しみ下さい。

2024年9月7日(土) 奈義町現代美術館 展示室「大地」「月」「太陽」他

- 開 場：午後6時30分～ ●演 奏：午後7時～9時過ぎまで
- 演奏者：原田郁子 (歌・鍵盤)
- 入場料：3,000円 (小学生未満無料)
- 定 員：100名

※要予約、先着順です。(定員になり次第締め切らせていただきます)

展示室「大地」「月」「太陽」をめぐり、それぞれの場と音を全身で体感します。

- 主 催：奈義町現代美術館 ●問合先：奈義町現代美術館
- 申込方法：裏面記載の二次元コードのフォームよりご予約ください。

(電話、FAX、E-mailの場合は下記の番号へお問合せください。)

〒708-1323 岡山県勝田郡奈義町豊沢441 Tel.0868-36-5811 / Fax.0868-36-5855

E-mail:nagimoca@town.nagilg.jp HP : <http://www.town.nagiokayama.jp/moca/>

奈義町現代美術館 公式Facebook 公式Instagram

※当日は「平子雄一 IDEAL LANDSCAPE (～9/8[日])」もご覧いただけます。

©1994 Reversible Destiny Foundation. Reproduced with permission of the Reversible Destiny Foundation

原田郁子 ひびきとうたう

空間をめぐるインスタレーション

Nagi MOCA

<奈義町町制施行70周年記念 / 奈義町現代美術館開館30周年記念>

第31回
奈義MOCA
観月会

原田郁子

ひびきとうたう ～空間をめぐるインスタレーション～

第 31回目を迎える「奈義MOCA観月会」は、バンド・クラムボンの原田郁子を迎えます。今回は美術館としても初の試みとなる、展示室「大地」「月」「太陽」すべてをライブ会場とし、それぞれの空間をめぐりながら、音の響きを楽しんでいただく、インスタレーション作品ともいえるような演奏会となります。

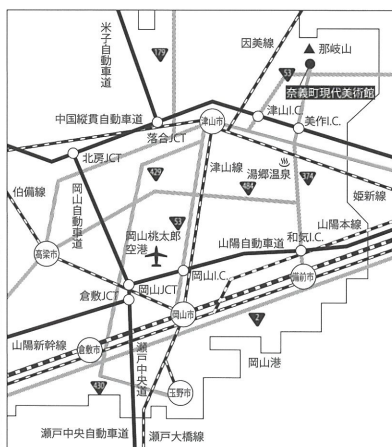
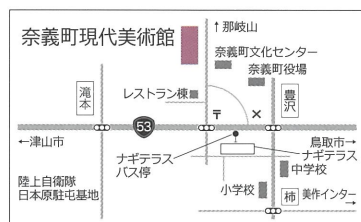
原田は、結成まもなく30年になるバンド活動、ソロアーティストとしても20年活動を続けており、ソロアルバムをこれまでに5枚発表。忌野清志郎と「銀河」、詩人・谷川俊太郎と「いまここ」という楽曲を共作、発表しています。

展示室「大地」は宮脇愛子、「月」は岡崎和郎、「太陽」は荒川修作+マドリン・ギンズの作品です。この機会にぜひ、「ひびきとうたう」を体感しにお越しください。



交通機関のご案内

- 1 岡山駅より約2時間30分
JR岡山駅(津山線)ー津山駅(バス、タクシー)
ー美術館
- 2 岡山桃太郎空港より約2時間
岡山桃太郎空港(乗合タクシー)ー津山駅(バス・
タクシー)ー美術館
- 3 大阪駅より約3時間
大阪駅JR高速バスターミナル発、新大阪駅経由
ー美作インター停留所(バス、タクシー)ー美術館



お車でお越しの方は無料の駐車場をご利用ください。

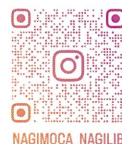
奈義町現代美術館

◎原田郁子 プロフィール

1975年福岡生まれ。1995年にミト、伊藤大助と3ピースバンド「クラムボン」を結成。歌と鍵盤を担当。1999年にシングル「はなれ ばなれ」でデビュー。バンド活動と並行して、ソロ活動、さまざまなミュージシャンとの共演、共作、舞台音楽、執筆、ドローイングなど、活動は多岐に渡る。これまでにソロアルバム「ピアノ」「気配と余韻」「ケモノと魔法」「銀河」を発表。吉祥寺「キチム」の立ち上げに関わる。2023年に谷川俊太郎との共作曲「いまここ」、ソロアルバム「いま」をリリースした。2024年、麒麟ビール「晴れ風」のCMで歌唱、映画「i ai」のサウンドトラックに参加。バンド「フィッシュマンズ」、角銅真実とのユニット「くくく」としても活動している。

<http://www.clammbon.com/ikuko/>

<https://www.youtube.com/@ikukoharada>



応募フォームQRコード→

NAGIMOCA_NAGILIB